

# 銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号  
加藤金属興業株式会社

◎ 2021年2月の国内電気銅建値は下記の通りです。

2月	1日	～	860円/Kg
2月	4日	～	870円/Kg
2月	9日	～	890円/Kg
2月	15日	～	920円/kg
2月	17日	～	940円/kg
2月	24日	～	1020円/kg

2021年2月度は平均で918.10円/kgとなり、前月比48.10円/kgの値上がりとなりました。

## 海外銅価の動き

2月のLME銅相場 2/1～2/25 (安値ドル7,755.50～9,604.50 高値ドル)  
2月のNYC銅相場 2/1～2/25 (安値セント353.90～430.10 高値セント)

2月度のLME現物は、2/1 \$7,827.00でスタート。

前月、約8年ぶりに\$8,000を超え、LME銅相場の急激な高騰が止まらない動きの中で迎えた今月も更に拍車がかかる動きとなり、2/22ついに\$9,000を超え25日入電においては\$9,614.50を記録する相場となった。中国・アジア経済の堅調な動きや新型コロナウイルスのワクチンの普及が世界経済の成長回復を支えるなどの楽観的な見方などからの急騰と見られるが、世界的な株価の上昇も含め警戒感を持って対処する必要があると思われる。ただ、この動きはコロナ変異株の感染拡大や不安要素により、急な暴落へ走る可能性もあるが、現状の動きは2011年に記録した1万ドル超えを記録する可能性の方が強いと思われる。

銅需給バランス…P社情報 2021年1月 資料より (単位/千トン)

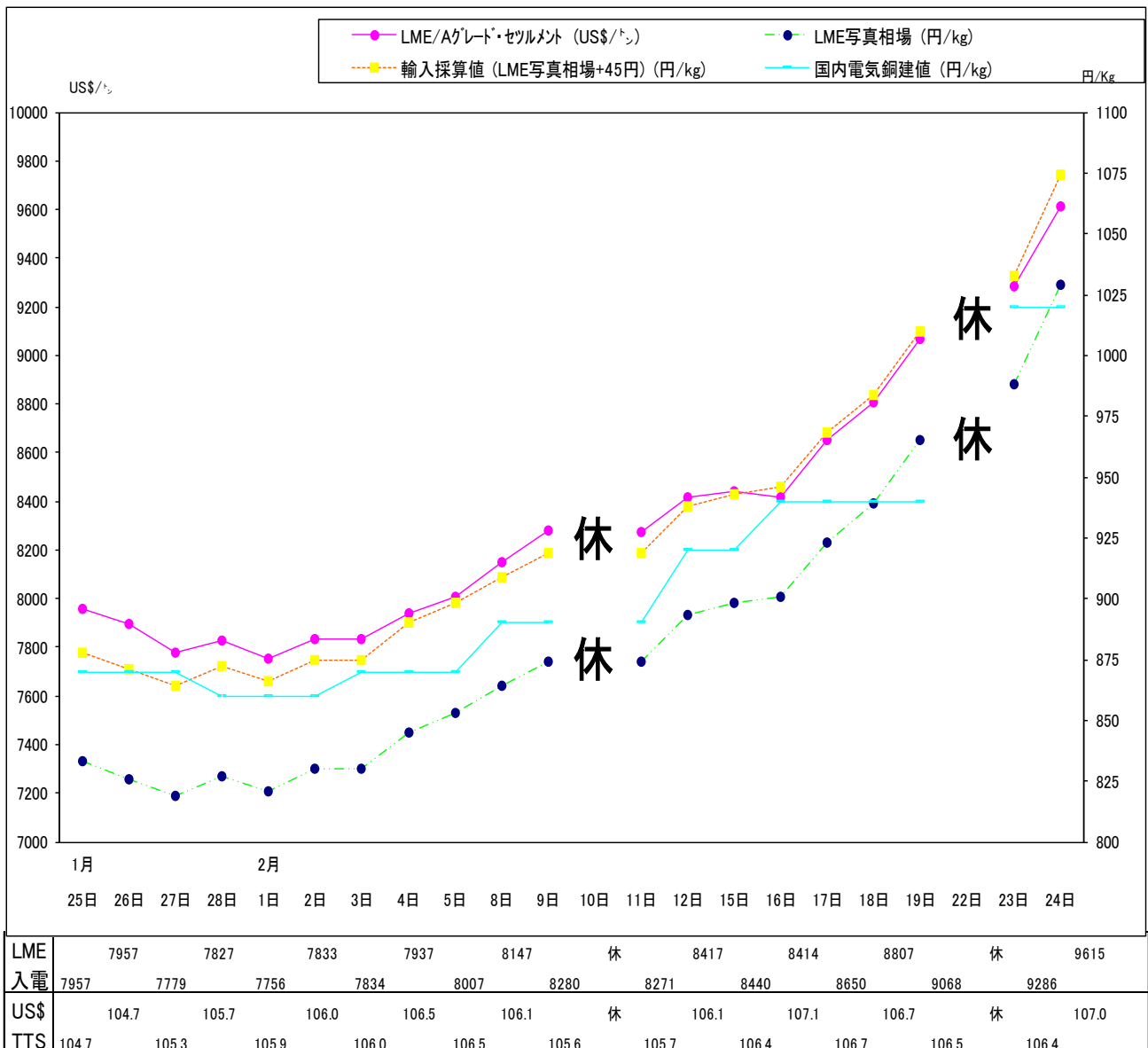
	2020年 実績	2021年 実績	前年比	2022年 予想	前年比	2023年 予想	前年比
全世界地金生産	23,270	23,845	+2.5%	24,518	+2.8%	25,219	+2.9%
全世界地金消費	22,993	23,691	+3.0%	24,417	+3.1%	25,142	+3.0%
全世界需給バランス	+277	+154		+101		+77	

## 先行き短期見通

### 国内銅価

2月の国内建値は1日860円でスタート。4日870円、9日890円とし、15日には900円を超えた。更に17日には円安の影響もあり940円と上昇し、月末24日ついに2007年以来の1020円となった。2/25付LME \$9,614.50、同為替(TTS) 1USD=107.06円で日本円換算計算値1029円/kgに。2021年3月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、1070円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2021年2月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 2月 1日 ~ 319 円/kg
- 2月 4日 ~ 328 円/kg
- 2月 10日 ~ 334 円/kg
- 2月 16日 ~ 355 円/kg
- 2月 22日 ~ 358 円/kg

平均340.20円/kg

2021年2月は上記の通りで前月比 6.00 円 / kg の 値上げとなりました。

これはLME 亜鉛相場が上昇したため。

## ◎ その他の建値

電気鉛	2月	279.00 円/kg	(前月比+ 7.90 円/kg)
電気錫 (相対)	2月	4,080.00 円/kg	(前月比+ 470.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	2月中価格	2,150.00 円/kg ~ 2,200.00 円/kg	
銀	1月平均	87,660.00 円/kg	(前月比+ 3,740.00 円/kg)
	2月26日	95,560.00 円/kg	
金	1月平均	6,259.63 円/g	(前月比+ 45.58 円/g)
	2月26日	6,070.00 円/g	

## ◎ 伸銅品関係

### 2021年1月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		12月度実績	1月度速報	前月比	前年1月度実績	前年同月比
銅	板	968	1,093	12.9%	1,416	-22.8%
	条	20,924	21,340	2.0%	18,272	16.8%
	管	7,090	7,314	3.2%	8,491	-13.9%
	棒	1,775	1,562	-12.0%	1,933	-19.2%
	線	282	275	-2.5%	228	20.6%
黄銅	板	413	459	11.1%	424	8.3%
	条	7,644	7,633	-0.1%	7,180	6.3%
	管	359	404	12.5%	483	-16.4%
	棒	13,521	13,596	0.6%	14,270	-4.7%
	線	1,950	1,760	-9.7%	2,141	-17.8%
青銅	板	2,498	2,359	-5.6%	1,949	21.0%
	条					
	棒	228	252	10.5%	271	-7.0%
	線					
洋白・その他	板	466	473	1.5%	390	21.3%
	条					
	棒	333	349	4.8%	359	-2.8%
	線					
合計	58,451	58,869	0.7%	57,807	1.8%	

1月の伸銅品生産速報は、58,869トンで前月比プラス418トン、前年同月比プラス1.8%となり、前年同月比が26ヶ月ぶりにプラスとなりました。

## 電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の20年11月分実績及び12月分推定によれば、11月分実績はコロナが響き7部門中主力の建販部門が二桁減になるなど、3部門が前年同月を割り込み総計は5万5千623tで前年同月比5.7%減と14ヶ月連続で減少した。コロナ禍により、新年度(4月)以降二桁減が9月まで続いたものの、

10、11月連続で減少幅が一桁台まで圧縮してきた。12月推定を含めると、これが3ヶ月間続く見通し。

電気機械、自動車部門ともクルマの生産台数が、上向いてきたのが寄与した。

11月分の部門別出荷をみると、プラスグループは電力と電気機械、自動車、輸出の4部門となった。電力は前年同月比2.2%増加した。6月以来5ヶ月ぶりのプラス。電気機械は自動車の電装用途に動き同5.2%増え、久々に3ヶ月連続での増加となった。自動車は、一部日系ユーザーの需要が好調なほか、需要が戻りだしたケースもあり同5.6%増加し、2ヶ月連続の増となり、一部の電線メーカーで好調な企業も散見された。輸出は10ヶ月ぶりにプラスに転じ同12.6%増加した。一部スポットの需要も発生した。

一方、マイナスグループ3部門。通信は同4.7%減と2ヶ月連続で前年同月を割り込んだ。その他内需は景気低迷で民間企業の設備投資が鈍化して同20.6%低下した。6ヶ月連続で前年を割り込み、何れもコロナ禍の影響が大きいと考えられる。

### 2020年11月分(実績)・2020年12月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	11月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	12月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	11月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	909	▼8.5	▼4.7	700	(▼23.0)	▼13.7	1,521	▼7.7	4.0
電力	(1,097)	(▼13.9)	(▼22.7)	(1,200)	(9.4)	(25.7)	(873)	(▼3.9)	(▼7.5)
	4,197	1.6	2.2	3,400	▼19.0	5.6	5,286	8.0	11.8
電気機械	(277)	(▼0.4)	(▼4.8)				(284)	(1.1)	(10.9)
	11,892	▼0.6	5.2	11,300	▼5.0	3.4	13,818	▼0.5	▼10.9
自動車	(181)	(▼6.7)	(6.5)				(669)	(2.1)	(17.6)
	8,114	▼2.5	5.6	7,700	▼5.1	5.8	37,104	▼4.4	6.7
建設・電販	(16)	(▼38.5)	(▼33.3)				(15)	(▼50.0)	(▼28.6)
	26,268	▼1.1	▼12.2	26,300	0.1	▼8.0	30,739	▼0.1	▼8.5
その他内需	(64)	(▼33.3)	(▼4.5)	(500)	(▼7.1)	(▼9.3)	(77)	(▼13.5)	(20.3)
	3,285	▼9.8	▼20.6	3,300	0.5	▼13.7	5,761	▼8.5	▼18.9
内需計	(1,635)	(▼12.5)	(▼17.1)	(1,700)	(4.0)	(12.9)	(1,918)	(▼2.2)	(3.5)
	54,665	▼1.7	▼5.9	52,700	▼3.6	▼3.6	94,229	▼2.1	▼3.0
輸出	(611)	(▼55.1)	(61000.0)	(800)	(30.9)	(▼13.5)	(316)	(▼55.9)	(3060.0)
	958	▼3.7	12.6	1,000	4.4	▼51.3	4,690	▼4.1	21.8
合計	(2,246)	(▼30.4)	(13.8)	(2,500)	(11.3)	(2.8)	(2,234)	(▼16.6)	(19.9)
	55,623	▼1.7	▼5.7	53,700	▼3.5	▼5.3	98,920	▼2.2	▼2.1
心線販売	(448)	(▼8.6)	(▼17.8)	(400)	(▼10.7)	(▼0.2)	(104)	(▼6.3)	(▼21.8)
	26,396	1.0	▼14.3	22,900	▼13.2	▼14.4	18,577	▼0.1	▼10.1

(注) ( )内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。

金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

### 2020年11月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	4,074	5.0	14.9	2,884	4.8	0.4	
巻線	11,147	▼1.4	3.2	10,260	▼0.7	▼10.4	
機器用電線	3,132	▼0.4	▼7.3	9,463	2.0	▼4.6	
通信用電線・ケーブル	1,324	▼5.8	▼3.8	2,976	▼7.7	▼2.8	
電力用電線・ケーブル	19,565	▼2.7	▼13.9	20,783	0.4	▼8.6	
被覆線	10,241	▼1.3	▼8.9	14,556	▼2.4	▼7.1	
輸送用電線	6,140	▼4.0	4.4	37,996	▼4.9	7.6	
銅電線計	55,623	▼1.7	▼5.7	98,920	▼2.2	▼2.1	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	74	▼22.1	▼12.9	239	▼19.0	▼14.0
	電力用電線・ケーブル、被覆線	3,092	▼3.8	▼18.3	3,659	▼2.6	▼15.2
	計	3,171	▼4.3	▼18.1	3,923	▼3.8	▼15.1
アルミ電線計	2,246	▼30.4	13.8	2,234	▼16.6	19.9	
光製品	3,377,902	▼11.9	19.0	24,505	▼3.8	▼0.9	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,488	▼4.4	5.2	

(注)2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注)3. 光製品の数量はkmc

(注)4. ▼はマイナス

◎ **アルミニウム関係**

○ 国際アルミニウム地金相場、第1週、前月末から続いている米国株式市場の混乱が各市場で引き続き注視されており、リスク回避でのドル買いが継続。個人投資家らの投機的取引の動きで銀に急伸が見られ、コモディティ市場に警戒感も広がり、アルミは軟調に推移。ドル高が重しになり多くの銘柄が直近の安値付近まで下落。米ADP雇用統計やISM非製造業景況感指数が市場予想を上回りアルミは回復。第2週、米追加経済支援策の早期成立期待。米国新規感染者数が大きく縮小したこと。民主党が財政調整法で経済対策の成立手続きを進めることなどからリスクオンが加速し、ドル安でアルミを支援。また、米週次新規失業保険申請件数が前週の81.2万件から79.3万件に減少したことからベースメタルも底堅く推移。ただ中国春節の連休開始で中国勢が不在のため上値は限定的。第3週、米株式市場の堅調や、オンライン開催のG7でイエレン米財務長官が大胆な財政出動を支持の背景にリスクオンに。鉱業世界最大手BHPの好業績と、中国の旺盛な需要などでベースメタルの買いを支援。ただ、中国勢不在のため商いは薄い状態。第4週、英・ユーロ圏PMIの改善やワクチン接種進行からドルの後退がアルミを支援し上昇。その後、香港政府が株取引に課す印紙税引上げを発表したことで香港株が急落し、アジアの株式市場は軟調、ベースメタルも上値重く推移。しかしながら原油高の流れにつられ急伸し\$2,180台に到達。FRB議長の議会証言やワクチンへの期待から米株の上昇も支援材料となる。独第4四半期GDPも好調のため、当面は\$2,180前後での小幅な推移を予想。

○ **対日オファー及び国内価格**

- ・対日オファー（CIF）                      2021年    1～2月積    2,267.00～2,265.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格                              2021年    1～2月積    225.90～225.70 円/kg
- ・NSP    2020年    12月        262.20 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格）              2021年    1月～3月    250.00 円/kg

○ **IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）**

	'20年12月	'21年1月	'20年1月
月生産	*2,394.0	2,407.0	2,385.0
平均日産	*77.2	77.6	76.9

(\*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

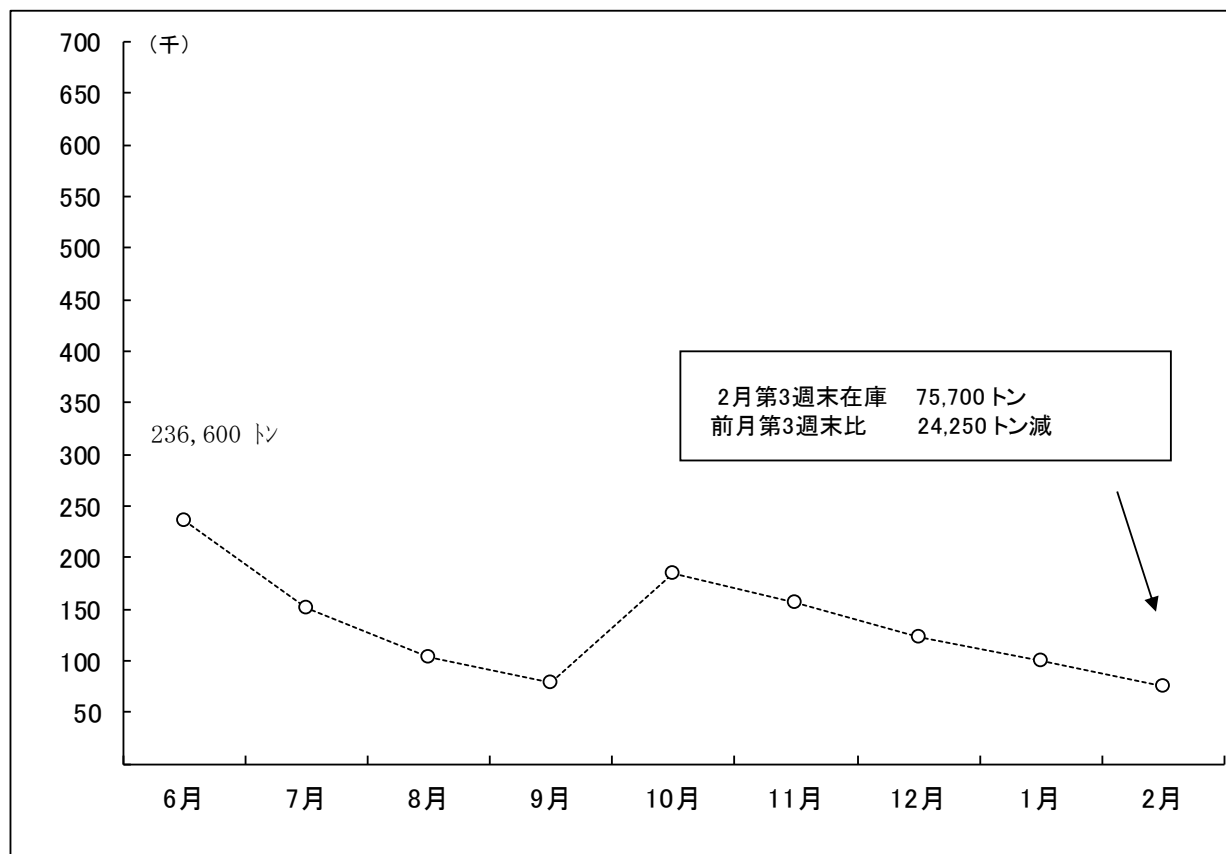
○ **アルミインゴット港湾在庫**

(単位：トン)

	2020年10月	2020年11月	増減	2019年11月	増減
横浜	148,600	133,100	-15,500	155,000	-21,900
名古屋	110,500	102,800	-7,700	151,200	-48,400
大阪	20,000	18,100	-1,900	15,000	+3,100
合計	279,100	254,000	-25,100	321,200	-67,200

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ L M E 銅在庫 (各月第 3 週末参考)



◎ COMEX 在庫 (第 3 週末)

・ 21年2月19日現在 65,471 S T 前月比 12,587 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・ 20年12月末 110,402 トン 前月比 10,657 トン増

◎ 伸銅品生産実績

・ 20年12月確報 58,451 トン  
・ 21年1月速報 58,869 トン 前月比 100.8 %

◎ 電線出荷実績

・ 21年1月速報 50,700 トン 前月比 94.4 %

◎ 軽圧品生産実績

・ 21年 1月	板 類	80,851 トン		
	押 出 類	53,370 トン		
		<hr/>		
		134,221 トン	前月比	92.9 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。